



# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 1階 )	自己評価／ユニットB( 2階 )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日、朝礼時に各職員クレドカードを持参の上、経営理念と曜日毎に理念(行動理念・人事理念・基本理念・コンセプト・プロフェッショナル3ヶ条)を出勤者全員で唱和し共有意識を高めている。その理念を理解し利用者を尊重した言葉遣いを心掛け、サービスの質の向上につなげている。	毎日、朝礼時に各職員クレドカードを持参の上、経営理念と曜日毎に理念(行動理念・人事理念・基本理念・コンセプト・プロフェッショナル3ヶ条)を出勤者全員で唱和し共有意識を高めている。その理念を理解し利用者を尊重した言葉遣いを心掛け、サービスの質の向上につなげている。	理念は事務所、フロアに掲示され、朝礼時に唱和され共有している。各自クレドカードは名前札や筆箱に入れ常に意識され、何時でも振り返られるようにしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で地域で開催されているイベント参加はできていないが、子供110番の駆け込み施設依頼を受け、近隣の方への挨拶は積極的に行っている。	コロナ禍で地域で開催されているイベント参加はできていないが、子供110番の駆け込み施設依頼を受け、近隣の方への挨拶は積極的に行っている。	以前は消防訓練に地域の方が参加されていたがコロナ禍の為出来ていない。こども110番の見守りを小学校から依頼され年1回はお礼の言葉を頂き、継続のお願いも受ける等交流は出来ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ禍にて、ご家族様や地域の方との運営推進会議は実施できていないが、2か月に1回施設にて運営推進会議をした内容をデータ化し、そのデータを通して定期的に地域の方々に認知症の人の理解を促している。	コロナ禍にて、ご家族様や地域の方との運営推進会議は実施できていないが、2か月に1回施設にて運営推進会議をした内容をデータ化し、そのデータを通して定期的に地域の方々に認知症の人の理解を促している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍にて、ご家族様や地域の方との運営推進会議は実施できていないが、2か月に1回施設にて運営推進会議をしたデータをご家族様や民生委員様、行政へ郵送しお伝えしている。また郵送した意見書の中で得られた意見や助言をサービスの質の向上に活かしている。	コロナ禍にて、ご家族様や地域の方との運営推進会議は実施できていないが、2か月に1回施設にて運営推進会議をしたデータをご家族様や民生委員様、行政へ郵送しお伝えしている。また郵送した意見書の中で得られた意見や助言をサービスの質の向上に活かしている。	コロナ禍で運営推進会議は行われていない。調整会議の中で2ヶ月に1回行事、活動報告の結果を画面にし委員のメンバー、家族に配布されている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 1階 )	自己評価／ユニットB( 2階 )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	広域連合や地域包括支援センターの担当者とは気軽に相談できる関係にあり、情報交換や課題解決の為に相談を行っている。ご意見やアドバイスを頂いた際は、職員へ伝え情報共有し、サービスの質の向上に取り組んでいる。	広域連合や地域包括支援センターの担当者とは気軽に相談できる関係にあり、情報交換や課題解決の為に相談を行っている。ご意見やアドバイスを頂いた際は、職員へ伝え情報共有し、サービスの質の向上に取り組んでいる。	行政には施設の案内や、介護保険、空き情報について出向いて相談している。その際にコロナに関する情報共有や報告もするなど関係づくりを行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会があり、3か月に1回施設内で勉強会を開催しており、職員個々の周知確認の為研修報告書の提出もし、身体拘束廃止の意識づけを定期的に行っている。玄関の施錠も夜間の防犯上の観点での施錠しか行っておらず、職員一丸となって、廃止に向け取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会があり、3か月に1回施設内で勉強会を開催しており、職員個々の周知確認の為研修報告書の提出もし、身体拘束廃止の意識づけを定期的に行っている。玄関の施錠も夜間の防犯上の観点での施錠しか行っておらず、職員一丸となって、廃止に向け取り組んでいる。	身体拘束の事例は無い。身体拘束の資料を配布し事業所内で研修が行われている。研修後、職員は報告書を作成し提出されている。言葉遣いやスピーチロック、職員の対応に気を付けている。禁止や弊害について理解され拘束の無い工夫をされている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止委員会があり、3か月に1回施設内で勉強会を開催しており、職員個々の周知確認の為研修報告書の提出もし、身体拘束廃止の意識づけを定期的に行っている。利用者の人権を尊重したケアが行われているか検討し防止に努めている。	身体拘束廃止委員会があり、3か月に1回施設内で勉強会を開催しており、職員個々の周知確認の為研修報告書の提出もし、身体拘束廃止の意識づけを定期的に行っている。利用者の人権を尊重したケアが行われているか検討し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見人制度において、研修にも積極的に参加し理解に努めている。また必要に応じて関係者と連携を図り支援している。	権利擁護や成年後見人制度において、研修にも積極的に参加し理解に努めている。また必要に応じて関係者と連携を図り支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 1階 )	自己評価／ユニットB( 2階 )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は当施設の利用契約書・重要事項説明書を用いて十分な説明を行っている。説明中にも不安や疑問点を定期的に尋ね、しっかりと理解し納得して頂くよう努めている。	契約の際は当施設の利用契約書・重要事項説明書を用いて十分な説明を行っている。説明中にも不安や疑問点を定期的に尋ね、しっかりと理解し納得して頂くよう努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	半年に1回ご家族様向けのアンケート用紙を送付し、結果を運営推進会議で開示している(コロナ禍にて運営推進会議はできていないが、アンケート用紙を出している)。また、施設玄関にご意見箱を設置し、利用者様やご家族様の面会等の意見も要望に沿える様対応を行っている。	半年に1回ご家族様向けのアンケート用紙を送付し、結果を運営推進会議で開示している(コロナ禍にて運営推進会議はできていないが、アンケート用紙を出している)。また、施設玄関にご意見箱を設置し、利用者様やご家族様の面会等の意見も要望に沿える様対応を行っている。	コロナ禍の為面会制限があり、現在は感染対策をし玄関で窓越しで行われている。今後様子を見ながらフェイスマスクを使用し外で面会が出来るように考えられている。面会の際に意見や要望を尋ねている。接客の際には笑顔、身だしなみに配慮し共通認識をもって対応する等指導されている。年2回アンケート調査を実施し、意見、要望については出来ることから改善されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設会議を毎月1回開催し、代表者や管理者は職員の意見を聴取している。また個別面談を定期的を実施し、随時意見や提案を聞く機会を設け反映できている。	施設会議を毎月1回開催し、代表者や管理者は職員の意見を聴取している。また個別面談を定期的を実施し、随時意見や提案を聞く機会を設け反映できている。	グループ内での異動はある。利用者に担当があり、日々の様子を観察し職員の気づきを記録に残されている。おたより担当を決め毎月1回作成し、コメントを記入し家族に送付されている。職員は意見、思い等なんでも言い易く、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい環境作りを心掛け、職員の希望を重視し勤務日程の作成を行っている。給与に関しては、資格に応じた手当や頑張った職員に反映される評価制度を取り入れ、毎月全職員個人評価して頂き、その評価をもとに誰でも昇給昇格ができるように努めている。	働きやすい環境作りを心掛け、職員の希望を重視し勤務日程の作成を行っている。給与に関しては、資格に応じた手当や頑張った職員に反映される評価制度を取り入れ、毎月全職員個人評価して頂き、その評価をもとに誰でも昇給昇格ができるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 1階 )	自己評価／ユニットB( 2階 )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に社内研修や毎月1回事業所内で研修・勉強会の機会を設け、職員一人ひとりが質の高いサービス提供の向上を目指すことができるようトレーニングを進めている。	定期的に社内研修や毎月1回事業所内で研修・勉強会の機会を設け、職員一人ひとりが質の高いサービス提供の向上を目指すことができるようトレーニングを進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域で開催されている研修に極力参加し、同業者と交流できるような機会をつくっている。同グループ会社の同業者とも月1回開催される地区会議や、電話・訪問時に意見交換しサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。	地域で開催される研修に参加し、同業者と交流できるような機会をつくっている。同グループ会社の同業者とも、月一回開催される地区会議や電話や訪問で意見交換しサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様1人ひとりに対し職員担当を決め、積極的に関わり信頼関係作りに努めている。また、定期的にあセスメントを取りながら思いや要望を傾聴することでご本人様の安心を確保する関係作りに努めている。	利用者様1人ひとりに対し職員担当を決め、積極的に関わり信頼関係作りに努めている。また、定期的にあセスメントを取りながら思いや要望を傾聴することでご本人様の安心を確保する関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談や見学時に、当施設で使用している入居相談受付表を用いて、ご家族が困っている事や不安・要望などにしっかりと耳を傾け、納得して安心してご利用いただけるよう説明を行い、ご家族様との信頼関係作りに努めている。	相談や見学時に、当施設で使用している入居相談受付表を用いて、ご家族が困っている事や不安・要望などにしっかりと耳を傾け、納得して安心してご利用いただけるよう説明を行い、ご家族様との信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談受付時に、ご本人様の身体機能面、精神面、生活面、経済面等の情報をしっかりと把握し、ご本人様に合ったサービスを利用できるような他事業所とも連携をとっている。	相談受付時に、ご本人様の身体機能面、精神面、生活面、経済面等の情報をしっかりと把握し、ご本人様に合ったサービスを利用できるような他事業所とも連携をとっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の能力に応じて、職員と一緒に洗濯物をたたんで頂いたり、利用者様に役割を持って頂いた生活を送っている。コミュニケーションを図り、心身状態の変化に配慮を行い、楽しく安心した暮らしを送る事ができるよう支援を行っている。	本人の能力に応じて、職員と一緒に洗濯物をたたんで頂いたり、利用者様に役割を持って頂いた生活を送っている。コミュニケーションを図り、心身状態の変化に配慮を行い、楽しく安心した暮らしを送る事ができるよう支援を行っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月受け持ち担当職員より本人様の心身状況や生活状況をまとめた利用状況報告書を作成し、ご家族様に渡している。また面会時などでご家族様の思いや近況などを伺い、本人と家族の絆を大切にしながら共に支えていく関係を築いている。	毎月受け持ち担当職員より本人様の心身状況や生活状況をまとめた利用状況報告書を作成し、ご家族様に渡している。また面会時などでご家族様の思いや近況などを伺い、本人と家族の絆を大切にしながら共に支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時には気兼ねなく過ごせるよう居室で過ごしてもらっていたが、現在はコロナ禍にて、基本窓越し面会までとさせて頂きご家族様の居室案内はご遠慮いただいている。個別レクリエーションにて馴染みの場所に外出を行うなどの支援に努めている。	面会時には気兼ねなく過ごせるよう居室で過ごしてもらっていたが、現在はコロナ禍にて、基本窓越し面会までとさせて頂きご家族様の居室案内はご遠慮いただいている。個別のレクリエーションにて馴染みの場所に外出を行うなどの支援に努めている。	コロナ禍の為面会は玄関で窓越しで行われているが徐々に改善しつつあり以前のような面会が出来るようになることが待たれる。個別レクリエーションを設け利用者が音楽を聞いたり、やりたい事、楽しみ事にも対応している。電話の取次ぎも行われ、連絡を取り合い情報を得られている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様1人ひとりの性格に配慮し、職員間で話し合いを行い席の振り分けを検討し、気の合う人との関わり合いが増える様な支援に努めている。	利用者様1人ひとりの性格に配慮し、職員間で話し合いを行い席の振り分けを検討し、気の合う人との関わり合いが増える様な支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、問い合わせ等により相談や支援できる様な関係構築に努めている。	契約終了後も、問い合わせ等により相談や支援できる様な関係構築に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 1階 )	自己評価／ユニットB( 2階 )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個別にゆっくりと向き合える環境や時間を設け、ご本人様の希望や要望を把握するよう努めている。意思の疎通が困難な場合は、ご家族様に相談した上でご入居者様本位に検討している。	個別にゆっくりと向き合える環境や時間を設け、ご本人様の希望や要望を把握するよう努めている。意思の疎通が困難な場合は、ご家族様に相談した上でご入居者様本位に検討している。	利用者とはレクリエーションの時、食後のゆっくりした時に話しの場を作っている。会話の中で思わぬ表情や行動等で様子を知る事もあり記録に残している。利用者の希望を問かけお菓子等甘いものの希望にも対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居相談・見学時の情報収集時や入居後の面会時にご本人様やご家族様に聞き取りを行い、これまでの暮らしの把握に努めている。	入居相談・見学時の情報収集時や入居後の面会時にご本人様やご家族様に聞き取りを行い、これまでの暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様1人ひとりの過ごし方や有する能力、会話の中での傾聴、毎日の観察を行いながらニーズを引き出し、介護計画に反映が出来るよう、一人ひとりの現状把握に努めている。	利用者様1人ひとりの過ごし方や有する能力、会話の中での傾聴、毎日の観察を行いながらニーズを引き出し、介護計画に反映が出来るよう、一人ひとりの現状把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画期間に応じ定期的にモニタリング・介護計画の見直しを行っており、ご本人様やご家族様と話し合いそれぞれの意見やアイデアを反映し立案した介護計画書が作成できる様努めている。	介護計画期間に応じ定期的にモニタリング・介護計画の見直しを行っており、ご本人様やご家族様と話し合いそれぞれの意見やアイデアを反映し立案した介護計画書が作成できる様努めている。	以前は担当者会議に家族の参加があった。医師、訪問看護、家族の意見をり入れ、申し送りノートを参考に利用者の現状に沿った介護計画を作成。月1回の会議で出来なかった事の反省をし、家族の意見は面会や電話で問合せしている。体調の変化の際には必要に応じて変更され家族に報告されている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に沿った援助内容に対しての反応・結果などを個別記録に残し、定期的カンファレンスを行い職員間で話し合い、実践や介護計画の見直しに活かせるように評価を行っている。	介護計画に沿った援助内容に対しての反応・結果などを個別記録に残し、定期的カンファレンスを行い職員間で話し合い、実践や介護計画の見直しに活かせるように評価を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の急な通院介助や買い物代行、居室内の清掃や衣類・必要物品の補充など必要に応じて柔軟な対応を行い、サービスの多機能化に取り組んでいる。	利用者様の急な通院介助や買い物代行、居室内の清掃や衣類・必要物品の補充など必要に応じて柔軟な対応を行い、サービスの多機能化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のイベント行事に機会があれば積極的に参加していく。利用者様1人1人が安全で楽しく過ごせる生活を送れるように支援していく。	地域のイベント行事に機会があれば積極的に参加していく。利用者様1人1人が安全で楽しく過ごせる生活を送れるように支援していく。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は希望される医療機関や事業所の提携医を主治医にされ、24時間対応の往診を受けている。事業所はそれぞれの主治医と良好な関係にあり適切かつ迅速に医療を受けられる様に支援を行っている。	利用者は希望される医療機関や事業所の提携医を主治医にされ、24時間対応の往診を受けている。事業所はそれぞれの主治医と良好な関係にあり適切かつ迅速に医療を受けられる様に支援を行っている。	受診は利用者、家族の希望であり、入居前のかかりつけ医の受診も多い。2週間に1回利用者毎の往診がある。受診には職員の同行もあるが病院で家族と合流の時もある。受診の結果は家族に報告される。時間外は訪問看護の支持を受け翌日受診されている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 1階 )	自己評価／ユニットB( 2階 )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	情報や気づきなどはその都度看護師や訪問看護師に状況報告を行い、常に指示や助言を受けられる様に努め、利用者様が適切な看護処置や受診を受けられるよう支援を行っている。	情報や気づきなどはその都度看護師や訪問看護師に状況報告を行い、常に指示や助言を受けられる様に努め、利用者様が適切な看護処置や受診を受けられるよう支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関が多数あり、入院時の職員付き添い等で医療機関との情報提供に努め、安心して治療を受けられる様に支援を行っている。	協力医療機関が多数あり、入院時の職員付き添い等で医療機関との情報提供に努め、安心して治療を受けられる様に支援を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所としては、訪問看護を導入し終末期ケアに取り組んでおり、ご入居者様が重度化した場合のあり方については、ご家族様と早い段階から話し合いを行い事業所で出来る事を十分に説明しながら方針を共有している。	事業所としては、訪問看護を導入し終末期ケアに取り組んでおり、ご入居者様が重度化した場合のあり方については、ご家族様と早い段階から話し合いを行い事業所で出来る事を十分に説明しながら方針を共有している。	最近看取りが行われ、勉強会も行われ、体制も出来ている。利用者の容態が重度化した際に家族の希望に沿い担当医、訪問看護と話し合い、良い看護、良い看取りになるようホームで出来る限りの支援が行われる。容態が変化した際には状況に合わせて対応される。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者様の急変や事故発生時に備えて、緊急時対応の研修を行ったり、手当や対応のマニュアルを作成し職員全員に周知し閲覧できるようにファイリングしている。また勉強会を行い対応方法の周知徹底を行っている。	利用者様の急変や事故発生時に備えて、緊急時対応の研修を行ったり、手当や対応のマニュアルを作成し職員全員に周知し閲覧できるようにファイリングしている。また勉強会を行い対応方法の周知徹底を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 1階 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 2階 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、防災訓練を計画しており、地域の方にも参加して頂けるよう、声掛けを行うとともに災害時のマニュアルも整備している。	年2回、防災訓練を計画しており、地域の方にも参加して頂けるよう、声掛けを行うとともに災害時のマニュアルも整備している。	年2回消防署立会いで夜間想定での訓練が利用者の参加で行われている。住民の参加は無い。避難場所は駐車場や近くの公園もある。訓練後には注意点、消火器の使い方、置き場所の確認等の説明があり、理解されている。備蓄は2日分の食材が確保されている。住宅の中のホームでいざと言う時は住民の協力体制が必要と思われる。また重度の方が2階に多い事も気になる所である。家族への避難場所の再確認の必要もある。消防署や運営推進会議の中で対策を立て住民の参加を期待したい。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は接遇マナーやプライバシー保護の研修・勉強会に参加し、利用者様の尊厳を遵守するよう周知徹底し、常に笑顔で心から接するよう心掛けている。	職員は接遇マナーやプライバシー保護の研修・勉強会に参加し、利用者様の尊厳を遵守するよう周知徹底し、常に笑顔で心から接するよう心掛けている。	事業所内で接遇の研修が行われ、威圧的な言葉の禁止や利用者の立場に立って行動するよう指導されている。会話の中で方言も上手く使い理解しやすく、分かり易く、楽しい雰囲気もある。職員の行動については「笑顔」を第一にと管理者は指導されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃からの会話の中でその方の思いや要望を傾聴し、その内容をカンファレンスの際に職員全員で情報共有し周知徹底している。日常生活の中でも自己決定できるよう支援を行っている。	日頃からの会話の中でその方の思いや要望を傾聴し、その内容をカンファレンスの際に職員全員で情報共有し周知徹底している。日常生活の中でも自己決定できるよう支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 1階 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 2階 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴の時間など、1日の大きな時間の流れはあるが、昼間ゆっくりとソファに座って会話したり体操したりと、日中各入居者様個人の希望に沿った活動時間を提供できるように支援している。	食事や入浴の時間など、1日の大きな時間の流れはあるが、昼間ゆっくりとソファに座って会話したり体操したりと、日中各入居者様個人の希望に沿った活動時間を提供できるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問カットが2か月に1回来設しており、利用者様に確認を行い希望に沿った利用が行われている。またその他にも起床・就寝介助や外出の際はタオルでの顔面清拭、整容に心がけている。	訪問カットが2か月に1回来設しており、利用者様に確認を行い希望に沿った利用が行われている。またその他にも起床・就寝介助や外出の際はタオルでの顔面清拭、整容に心がけている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節やイベントに合わせたメニューを提供したり、入居者様のリクエストも取り入れるように心がけている。またお誕生日会ではご入居者様のリクエストに応え全員で参加し実施している。	季節やイベントに合わせたメニューを提供したり、入居者様のリクエストも取り入れるように心がけている。またお誕生日会ではご入居者様のリクエストに応え全員で参加し実施している。	食材はグループ内で統一され、主食のみホームで作られている。利用者の高齢化が進み食事の手伝いは見られない。食べ易い形態の食事で、完食されている。行事食は日頃の献立にその時の用途にあった季節の食材や飾り付けを加え提供され、楽しみになっている。介助の必要な方には職員が傍に寄り添い声掛けをしながらの食事で、ゆっくりした時間となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量も日々記録として残り健康管理に活かせるよう心掛けている。またカンファレンス等で利用者様の状態に合わせた食事形態で提供するように心がけている。	食事や水分摂取量も日々記録として残り健康管理に活かせるよう心掛けている。またカンファレンス等で利用者様の状態に合わせた食事形態で提供するように心がけている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施している。利用者個々の有する機能に応じた声かけや歯磨きの介助、義歯洗浄口腔ケアを行い、訪問歯科との連携も図っている。	毎食後口腔ケアを実施している。利用者個々の有する機能に応じた声かけや歯磨きの介助、義歯洗浄口腔ケアを行い、訪問歯科との連携も図っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 1階 ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( 2階 ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄記録を記入し、個人のタイミングに合わせたトイレ誘導を行っている。また排便困難時にはトイレにて腹部マッサージを行い排便を促す環境作りを支援している。	個々の排泄記録を記入し、個人のタイミングに合わせたトイレ誘導を行っている。また排便困難時にはトイレにて腹部マッサージを行い排便を促す環境作りを支援している。	排泄チェック表を参考に声掛けや表情を察し誘導されている。自分から合図を出されるようになり自立された方もある。半数の方がトイレを使用されている。衣類の上げ下げを自分で出来る方もあり現状維持を大切にしている。排便については定期的にかかりつけの医師の指示に従っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は消化の良い物や調理に工夫して野菜が摂れる食事を提供している。なるべく水分補給ができるように、少し甘いドリンク等を提供することもある。午前中に体操するなど体の動きを意識し、便秘時は各利用者様に沿った往診医師からの指示の下で処置を行っている。	食事は消化の良い物や調理に工夫して野菜が摂れる食事を提供している。なるべく水分補給ができるように、少し甘いドリンク等を提供することもある。午前中に体操するなど体の動きを意識し、便秘時は各利用者様に沿った往診医師からの指示の下で処置を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者様のバイタルサインや体調・気分を観察し、気持ち良く入浴できるような声掛けや促しを行っている。その日、入浴できない方も足浴や清拭を行う対応をしている。	利用者様のバイタルサインや体調・気分を観察し、気持ち良く入浴できるような声掛けや促しを行っている。その日、入浴できない方も足浴や清拭を行う対応をしている。	週2回の入浴で、体調や気分に沿った支援である。衣類の着脱の出来る方、体を洗う方には一部介助しながらの入浴である。嫌がられる方には時間を掛け、声掛けしシャワー浴や足浴の対応もある。風呂の時間は会話の出来る楽しい時間でもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自立度の高い方は、ご本人様の意思を尊重し見守りを行っている。ご本人で判断が困難な方は、職員がベッド臥床介助を行い休息の時間を設けるなど、各入居者様の状態に応じた支援を行っている。	自立度の高い方は、ご本人様の意思を尊重し見守りを行っている。ご本人で判断が困難な方は、職員がベッド臥床介助を行い休息の時間を設けるなど、各入居者様の状態に応じた支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	居宅療養管理指導の薬剤師より指導を受けたり相談したりと、友好関係を構築している。職員全員が薬の情報を共有できるよう薬剤情報提供書を保管し、症状の変化については医療機関に情報提供しながら服薬の支援を行っている。	居宅療養管理指導の薬剤師より指導を受けたり相談したりと、友好関係を構築している。職員全員が薬の情報を共有できるよう薬剤情報提供書を保管し、症状の変化については医療機関に情報提供しながら服薬の支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除・洗濯物たたみや工作・塗り絵等、それぞれ利用者様の生活歴や趣味を活かした支援を行っている。	掃除・洗濯物たたみや工作・塗り絵等、それぞれ利用者様の生活歴や趣味を活かした支援を行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で遠方外出は控えているが、歩行訓練や気分転換含め近隣や敷地内散歩を行っている。普段は行けないような場所も、ご本人様やご家族様のご要望をもとに行先を決め、可能な限りで外出企画をし実現できるように支援を行っている。	コロナ禍で遠方外出は控えているが、歩行訓練や気分転換含め近隣や敷地内散歩を行っている。普段は行けないような場所も、ご本人様やご家族様のご要望をもとに行先を決め、可能な限りで外出企画をし実現できるように支援を行っている。	外出制限の中計画通りには出来ない。近くの公園には出かけられ、外気浴しながら季節を感じられている。天気の良い日は駐車場で日光浴をしながらお茶会も行われる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	各入居者様の金銭は職員が管理しているが、自立度の高い利用者様に関しては買い物に出かけた際はレジにてご本人様が支払い出来る様に支援を行っている。	各入居者様の金銭は職員が管理しているが、自立度の高い利用者様に関しては買い物に出かけた際はレジにてご本人様が支払い出来る様に支援を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様ご家族様の希望に沿い、電話で話せるよう援助を行っている。毎月、利用者様の過ごし方などが分かる利用情報提供書を作成・郵送し家族の方にお伝えしている。今後、電話だけでなくリモート面会も導入していく予定。	ご本人様ご家族様の希望に沿い、電話で話せるよう援助を行っている。毎月、利用者様の過ごし方などが分かる利用情報提供書を作成・郵送し家族の方にお伝えしている。今後、電話だけでなくリモート面会も導入していく予定。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( 1階 )	自己評価／ユニットB( 2階 )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下は手すりを設置し安全性に配慮し、共用空間であるフロアはユニットの中心に設置され、窓の外の景観により季節が移り変わる様子が眺められるようになっている。フロアには空調や空気清浄機を設置し、室温や換気の調整を行い常に快適に過ごしていただけるよう努めている。	廊下は手すりを設置し安全性に配慮し、共用空間であるフロアはユニットの中心に設置され、窓の外の景観により季節が移り変わる様子が眺められるようになっている。フロアには空調や空気清浄機を設置し、室温や換気の調整を行い常に快適に過ごしていただけるよう努めている。	リビングはホームの真ん中に位置し置の部分もあるが今はフローリングを使用されている。利用者の手作りの季節の作品も展示されている。ソファに横になってテレビを楽しむ方もあり、ゆったりした時間を過ごされている。2階への移動はエレベータを使用され、エレベータ内には非常用呼び出しの装置も着いている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者様同士で会話したりと楽しく過ごせるよう、お互いの関係にも配慮したテーブル配置を検討し、ソファも設置する事で少し距離を置けるように、皆様が思い思いに過ごせる様な空間作りを行っている。	気の合った利用者様同士で会話したりと楽しく過ごせるよう、お互いの関係にも配慮したテーブル配置を検討し、ソファも設置する事で少し距離を置けるように、皆様が思い思いに過ごせる様な空間作りを行っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、ご家族の協力のもとご本人の思い入れのある物を置いて、いつもの馴染みのある部屋をつくり、安心して過ごせるような居室づくりを行っている。	入居時に、ご家族の協力のもとご本人の思い入れのある物を置いて、いつもの馴染みのある部屋をつくり、安心して過ごせるような居室づくりを行っている。	居室入り口には千代紙に名前が書かれ、造花や折り紙が目印になっている。整理タンス、写真、空気清浄機等馴染みの物の持ち込みは自由である。お仏壇の持ち込みの方はお花も供えられている。夜具の整理は職員と利用者で行われ、整理整頓され自分らしく住みやすい居室となっている。居室内での行動の様子の把握、転倒防止等の為ベッドの下にセンサーが設置されている。褥瘡の方の体位変換に使用する装置も取り付けられている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室前には表札とトイレ入口にはトイレの表記をしている。廊下は、安全に移動ができるように手すりを設置している。	居室前には表札とトイレ入口にはトイレの表記をしている。廊下は、安全に移動ができるように手すりを設置している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない